

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場会社名 住友重機械工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6302 URL <http://www.shi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 吉伸

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 大島 秀夫

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 03-6737-2333

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	251,651	△26.2	8,218	△76.1	7,253	△78.6	1,320	△93.3
21年3月期第2四半期	340,774	—	34,367	—	33,952	—	19,777	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	2.19	—
21年3月期第2四半期	32.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	601,687	244,240	39.0	388.72
21年3月期	657,436	238,697	34.8	378.78

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 234,570百万円 21年3月期 228,581百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	△19.1	19,000	△66.6	16,000	△68.2	5,000	△63.4	8.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 住友建機(唐山)有限公司) 除外 1社 (社名 住友建機製造株式会社)
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	605,726,394株	21年3月期	605,726,394株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,286,685株	21年3月期	2,259,483株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	603,453,904株	21年3月期第2四半期	603,538,780株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)平成21年7月31日に公表いたしました業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成22年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(2)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、昨年秋以降急激に悪化した景気についてはほぼ下げ止まったものの、引き続き低水準で推移しており、この不況が長期化するとの見方が強まっています。また、海外では、経済対策の効果が出ている中国など一部の国を除き、ほぼ全世界において深刻な経済状況であり、不況の長期化が懸念されています。

このような経済環境のもと、当社グループは、業績の下振れ回避を狙ったコスト削減、中国を中心としたグローバル展開の加速を行うなど経営環境変化に適応した事業運営を行いました。

その結果、受注高につきましては全部門で減少し前年同期比57%減少の1,797億円となりました。売上高につきましては、船舶鉄構・機器部門、機械部門は増加したものの、その他の部門で減少し、前年同期比26%減少の2,517億円となりました。

損益面では、売上高の減少、市況の悪化に伴い営業利益は前年同期比76%減少の82億円、経常利益は前年同期比79%減少の73億円、四半期純利益は前年同期比93%減少の13億円となりました。

各部門別の状況は、以下のとおりです。

（1）標準・量産機械部門

減・変速機事業の受注・売上は世界的な景気悪化の影響を受けほぼ全ての機種で前年同期より悪化しました。また、プラスチック加工機械事業の受注についても全世界的に市況が悪化したことにより受注・売上ともに減少しました。その他機種につきましても半導体・電子関連市況が低調で、部門全体で受注・売上ともに前年同期を下回る結果となりました。営業利益はこれら売上の減少により悪化しました。この結果、受注高は722億円（前年同期比45%減）、売上高は801億円（前年同期比36%減）、営業損失は50億円となりました。

（2）環境・プラントその他部門

エネルギープラント事業の受注については産業用発電ボイラについて国内市況が低調に推移したことから減少し、売上につきましても減少しました。この結果、受注高は290億円（前年同期比52%減）、売上高は328億円（前年同期比18%減）、営業利益は26億円となりました。

（3）船舶鉄構・機器部門

船舶事業の受注は前年同期に中型タンカー7隻を受注したのに対し当期は受注がなく、売上については前年同期よりも1隻多い5隻の引渡しとなりました。その他機種では石油・化学プラント向け反応容器の受注が減少し、売上も減少しました。この結果、受注高は77億円（前年同期比89%減）、売上高は423億円（前年同期比8%増）、営業利益は32億円となりました。

（4）機械部門

タービン・ポンプ事業の受注は海外における資源・エネルギー関連顧客の設備投資が低調に推移し、運搬機械事業につきましても造船・製鉄会社向けを中心に前年同期に比べ大幅に減少しました。売上につきましては受注残が豊富であったため、前年同期より増加しました。この結果、受注高は242億円（前年同期比61%減）、売上高は458億円（前年同期比28%増）、営業利益は76億円となりました。

（5）建設機械部門

油圧ショベル事業は中国市場で若干の改善は見られたものの、中国を除くほとんどの市場において需要が大幅に落ち込み、受注・売上とも減少しました。この売上高減少の影響により営業利益も減少しました。建設用クレーン事業につきましては北米市場の悪化を受け低調に推移し、受注・売上ともに減少しました。この結果、受注高は466億円（前年同期比52%減）、売上高は506億円（前年同期比50%減）、営業損失は3億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末（平成21年9月30日）における総資産は、前連結会計年度末と比べて有形固定資産が88億円増加した一方、受取手形及び売掛金が394億円、たな卸資産が91億円、投資その他の資産が86億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比557億円減少の6,017億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が396億円、有利子負債残高が134億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比613億円減少の3,574億円となりました。

純資産は、利益剰余金が13億円、その他有価証券評価差額金が22億円それぞれ増加したことなどもあり、前連結会計年度末比55億円増加の2,442億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比4.2ポイント上昇し、39.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、たな卸資産の増減額や売上債権の増減額及び法人税等の支払額が前年同期比で増加した一方、税金等調整前四半期純利益や仕入債務の増減額が減少したことなどにより、前年同期比51億円減少の232億円となりました。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出や関係会社出資金の払込による支出が減少したことなどにより、前年同期比47億円減少の93億円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済を進めたことから前年同期比71億円増加の171億円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して3億円減少の421億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前回予想に対して、当第2四半期連結累計期間では、標準・量産機械部門で市況が下げ止まったことや、船舶鉄構・機器部門及び機械部門で鋼材価格上昇などの影響が想定より軽微であったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益につきまして、いずれも前回予想から改善いたしました。

通期につきましては、当社グループを取り巻く経営環境が不透明であり、先行き懸念もありますが、当第2四半期連結累計期間の業績などを勘案し、営業利益、経常利益、当期純利益につきまして、いずれも上方修正することいたします。

なお、第3四半期以降の主な為替レートは、1米ドル=90円、1ユーロ=125円と想定しております。

平成21年7月31日の第1四半期決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

(平成22年3月期 通期)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	520,000	14,000	10,000	3,500	5.80
今回発表予想(B)	520,000	19,000	16,000	5,000	8.29
増減額(B-A)	—	5,000	6,000	1,500	—
増減率(%)	—	35.7	60.0	42.9	—
(ご参考)前期実績	642,918	56,940	50,275	13,649	22.62

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

住友建機(唐山)有限公司は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。また、住友建機製造(株)は住友建機(株)と合併したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

- ・一般債権の貸倒見積高の算定方法

前連結会計年度末で用いた貸倒実績率を使用しております。

- ・たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、前連結会計年度に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

- ・たな卸資産の未実現損益の算定方法

前連結会計年度末で用いた損益率を使用しております。

- ・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

- ・経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境など、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、一定の基準を満たす長期大型工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,932	44,685
受取手形及び売掛金	116,258	155,664
製品	40,988	43,260
仕掛品	78,090	84,826
原材料及び貯蔵品	21,222	21,294
その他	25,189	31,576
貸倒引当金	△1,114	△1,012
流動資産合計	323,565	380,293
固定資産		
有形固定資産		
土地	115,997	115,909
その他(純額)	106,863	98,119
有形固定資産合計	222,860	214,028
無形固定資産		
その他	7,113	6,392
無形固定資産合計	7,113	6,392
投資その他の資産		
その他	49,792	58,187
貸倒引当金	△1,643	△1,464
投資その他の資産合計	48,149	56,722
固定資産合計	278,122	277,143
資産合計	601,687	657,436
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,504	136,090
短期借入金	35,042	34,176
コマーシャル・ペーパー	5,000	24,000
1年内返済予定の長期借入金	8,119	1,136
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
引当金	7,588	7,938
その他	80,030	89,045
流動負債合計	242,283	302,385
固定負債		
長期借入金	38,746	41,027
退職給付引当金	34,548	34,808
引当金	250	237
再評価に係る繰延税金負債	32,211	32,211
その他	9,410	8,071
固定負債合計	115,164	116,353
負債合計	357,447	418,738

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	20,503	20,503
利益剰余金	149,990	148,725
自己株式	△1,481	△1,471
株主資本合計	199,884	198,629
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,620	△547
繰延ヘッジ損益	2,666	1,945
在外子会社年金債務調整額	△2,687	△3,008
土地再評価差額金	40,386	40,360
為替換算調整勘定	△7,299	△8,798
評価・換算差額等合計	34,686	29,952
少数株主持分	9,670	10,116
純資産合計	244,240	238,697
負債純資産合計	601,687	657,436

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	340,774	251,651
売上原価	263,674	204,170
売上総利益	77,101	47,480
販売費及び一般管理費	42,734	39,262
営業利益	34,367	8,218
営業外収益		
受取利息	97	59
受取配当金	692	518
その他	2,189	1,523
営業外収益合計	2,977	2,099
営業外費用		
支払利息	819	932
その他	2,573	2,133
営業外費用合計	3,392	3,065
経常利益	33,952	7,253
特別利益		
補助金収入	—	896
特別利益合計	—	896
特別損失		
投資有価証券評価損	150	1,098
特別損失合計	150	1,098
税金等調整前四半期純利益	33,802	7,050
法人税、住民税及び事業税	13,245	4,568
法人税等調整額	△15	694
法人税等合計	13,230	5,262
少数株主利益	795	469
四半期純利益	19,777	1,320

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,802	7,050
減価償却費	8,228	9,562
受取利息及び受取配当金	△789	△577
支払利息	819	932
売上債権の増減額 (△は増加)	23,672	37,181
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19,030	12,550
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,441	△42,413
その他	328	3,645
小計	45,589	27,929
利息及び配当金の受取額	1,248	1,165
利息の支払額	△832	△890
法人税等の支払額	△17,698	△5,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,307	23,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	9	1,978
有価証券の純増減額 (△は増加)	—	1,500
固定資産の取得による支出	△15,265	△12,656
投資有価証券の売却による収入	1,031	31
関係会社出資金の払込による支出	△3,981	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	4,158	272
その他	16	△452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,033	△9,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,944	△1,740
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△2,000	△19,000
長期借入れによる収入	1,512	5,500
長期借入金の返済による支出	△2,133	△819
配当金の支払額	△3,007	△11
少数株主への配当金の支払額	△381	△657
その他	△62	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,015	△17,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	△310	1,008
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,949	△2,268
現金及び現金同等物の期首残高	29,879	42,414
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,942
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△38	—
連結子会社と非連結子会社との合併による現金及び現金同等物の増加額	14	17
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,804	42,105

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	標準・ 量産機械 (百万円)	環境・ プラント その他 (百万円)	船舶鉄構 ・機器 (百万円)	機械 (百万円)	建設機械 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	125,097	39,928	39,211	35,858	100,680	340,774	—	340,774
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,666	1,192	329	113	27	3,328	(3,328)	—
計	126,763	41,120	39,540	35,971	100,707	344,102	(3,328)	340,774
営業利益	9,896	3,705	7,348	5,529	7,783	34,260	107	34,367

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	標準・ 量産機械 (百万円)	環境・ プラント その他 (百万円)	船舶鉄構 ・機器 (百万円)	機械 (百万円)	建設機械 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	80,075	32,798	42,331	45,827	50,620	251,651	—	251,651
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,271	1,103	579	76	4	3,033	(3,033)	—
計	81,345	33,901	42,910	45,903	50,624	254,683	(3,033)	251,651
営業利益 又は営業損失(△)	△4,999	2,621	3,233	7,552	△315	8,092	126	8,218

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっている。

2 各事業の主な製品

事業区分	主要製品
標準・量産機械	減・変速機、プラスチック加工機械、フィルム加工機、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、加速器、液晶ディスプレイ製造装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械
環境・プラントその他	ボイラ、産業廃棄物処理装置、水処理装置、パルプ製造装置、不動産、ソフトウェア
船舶鉄構・機器	船舶、反応容器、橋梁
機械	鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ
建設機械	油圧ショベル、クレーン、道路機械

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	259,938	44,041	36,795	340,774	—	340,774
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,182	593	6,752	28,527	(28,527)	—
計	281,119	44,635	43,547	369,301	(28,527)	340,774
営業利益	27,189	4,829	2,060	34,079	288	34,367

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	199,910	27,820	23,921	251,651	—	251,651
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,305	483	4,066	17,854	(17,854)	—
計	213,215	28,302	27,987	269,504	(17,854)	251,651
営業利益 又は営業損失(△)	9,059	1,702	△2,832	7,929	289	8,218

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度区分によっている。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) その他 … ドイツ、英国、シンガポール、中国

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	58,138	60,643	68,617	187,397
II 連結売上高(百万円)				340,774
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.1	17.8	20.1	55.0

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	33,695	44,332	50,013	128,040
II 連結売上高(百万円)				251,651
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.4	17.6	19.9	50.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度区分によっている。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 …… 米国、カナダ

(2) アジア … 中国、シンガポール

(3) その他 … ドイツ、英国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) セグメント別受注・売上・受注残高

①受注高

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

セグメント	前年同四半期 (20/4～20/9)		当第2四半期 (21/4～21/9)		増減比 (%)	前期 (20/4～21/3)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
標準・量産機械	132,379	31.3	72,220	40.2	△45.4	200,803	33.4
環境・プラントその他	59,995	14.2	28,956	16.1	△51.7	84,240	14.0
船舶鉄構・機器	70,499	16.7	7,747	4.3	△89.0	78,080	13.0
機械	62,122	14.7	24,237	13.5	△61.0	98,752	16.5
建設機械	97,487	23.1	46,571	25.9	△52.2	138,783	23.1
合計	422,483	100.0	179,730	100.0	△57.5	600,658	100.0

②売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

セグメント	前年同四半期 (20/4～20/9)		当第2四半期 (21/4～21/9)		増減比 (%)	前期 (20/4～21/3)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
標準・量産機械	125,097	36.7	80,075	31.8	△36.0	227,226	35.3
環境・プラントその他	39,928	11.7	32,798	13.1	△17.9	92,625	14.4
船舶鉄構・機器	39,211	11.5	42,331	16.8	8.0	79,602	12.4
機械	35,858	10.5	45,827	18.2	27.8	84,310	13.1
建設機械	100,680	29.6	50,620	20.1	△49.7	159,154	24.8
合計	340,774	100.0	251,651	100.0	△26.2	642,918	100.0

③受注残高

当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日）

セグメント	前期末 (21. 3. 31)		当第2四半期末 (21. 9. 30)		増減比 (%)	前年同四半期末 (20. 9. 30)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		金額 (百万円)	構成比 (%)
標準・量産機械	72,717	14.8	64,862	15.5	△10.8	106,150	16.9
環境・プラントその他	81,532	16.6	77,690	18.5	△4.7	109,155	17.4
船舶鉄構・機器	216,184	43.9	181,600	43.2	△16.0	248,994	39.7
機械	106,047	21.6	84,457	20.1	△20.4	124,732	19.9
建設機械	15,427	3.1	11,378	2.7	△26.2	38,097	6.1
合計	491,907	100.0	419,987	100.0	△14.6	627,128	100.0